

**第229号紙面案内**

第2面・・・第50回全国研究大会プログラム

第4面・・・機関紙論文募集！

第5面・・・第51回大会自由論題報告者募集！／第30回中部部会開催・報告者募集！

第6面・・・第7回産学交流シンポジウム開催案内

**第50回全国研究大会の開催にむけて  
統一テーマ「『アジアの時代』に生きる経営教育」**

大会実行委員長 篠原 淳

日本経営教育学会第50回全国研究大会が10月8（金）・9日（土）・10日（日）の3日間、九州国際大学（北九州市八幡東区）に於いて開催されます。

今回の統一テーマは、「『アジアの時代』に生きる経営教育」です。米国、欧州に対抗できる経済圏としてのアジア諸国の結束は時代の要請でもあり、我が国のような資源の枯渇した国としては、これまでのように単純にコスト削減のための現地生産という発想を転換せざるを得ないほど他の国々の技術レベルや国際競争力が高まってきており、そうした状況を十分に認識し、まさに「アジアとともに生きる」道を真剣に考えねばならない時代に入ってきているものと考えられるのではないのでしょうか。

また、生産国中国が消費国へと大きく変化し、我が国の資源確保への取り組みも複雑化せざるを得ません。アジア経済が世界経済に占める割合は今後とも大きくなると推測されることから、日本企業もこれまでのアジア戦略の大きな見直しが必要であり、今回の統一テーマはそうした背景を踏まえたものであります。古より中国大陸との交流が盛んな九州は、今後も同様に様々な面で関わりの深い地域を維持し続けるものと考えます。そういった意味でもまさに今回の統一テーマに関して議論を行うには最適の舞台であり、また、主催校である九州国際大学も八幡への移転時に設置された新学部は、アジアとの共生を視野に入れたものであり、実り多い議論が展開されるものと期待しております。

統一論題では「留学ビジネスと経営者の育成」、「中国における日系企業の労務管理の特質」、「技術事業経営を推進できる幹部候補者の育成」、「わが国ベンチャー経営教育のアジアへの移転可能性」といった大変興味深いテーマが並んでおります。遠方ではございますが、より多くの会員の皆様方に積極的にご参加いただければ、より充実した大会となると思ひますし、開催校としても皆様にご満足いただけるよう精一杯努めさせていただきますので宜しくお願ひ申し上げます。

## 日本経営教育学会第50回全国研究大会プログラム 統一論題「『アジアの時代』に生きる経営教育」

(会場) 九州国際大学

10月8日(金)

施設見学	新日本製鐵八幡製鐵所
集合場所・時間	戸畑駅14:00
各委員会 17:00~18:00	九州国際大学(1号館大会議室、研究棟会議室、平野記念館会議室など)
理事会 18:00~19:30	九州国際大学(アッセンブリールーム)

10月9日(土) 9:30 受付開始

自由論題報告 10:00~12:25 (報告:30分、コメント・質疑:15分)	
第1報告 10:00~10:45	
第2報告 10:50~11:35	
第3報告 11:40~12:25	
統一論題報告 13:25~16:35 (報告40分、コメント・質疑:20分)	
第1報告 13:25~14:25	
第2報告 14:35~15:35	
特別講演 15:45~16:45	
テーマ	アジアにおける事業展開と人材教育
報告者	中山 眞(安川電機会長)
司会者	篠原 淳(九州国際大学)
懇親会	17:00~19:00

10月10日(日) 9:00 受付開始

自由論題報告 9:30~11:05	
第4報告 9:30~10:15	
第5報告 10:20~11:05	
統一論題報告	
第3報告 11:15~12:15	
第4報告 13:00~14:00	

※なお、報告者および報告テーマ等、詳細につきましては、学会ホームページをご参照ください。URLは下記のとおりです。

日本経営教育学会ホームページ：<http://www.j-keieikyoiku.jp/>

**平成16年度第1回九州部会報告**

九州共立大学 八島雄士

平成16年8月9日(月)、九州部会が九州国際大学で参加者22名を得て開催された。

第1報告は、「ベンチャー企業とベンチャーキャピタルの検討」(宮脇敏哉氏、山口大学大学院生)で、ベンチャー企業と中小企業とが対比され、わが国においてベンチャーキャピタルとエンジェルの数が極端に少ないという問題点が指摘された。この見解に対して、日本では新規事業は企業内起業によって行われるため、企業内起業と企業外起業を比較すべきではないかという意見がだされ、フロアも交えて、活発な議論が行われた。

第2報告は、「産業空洞化と電機メーカーの対応」(堀高志氏、九州産業大学大学院生)で、研究開発と生産機能は製品化において密接に関わっており、国内生産を強化することが製品化を促進することにつながることを主張された。経営学と経済学との接点に関わる論点であり、経営学研究のあり方に関して活発な議論が行われた。

第3報告は、「山城経営学に学ぶ」(吉岡隆彰氏、第一経済大学)で、日本経営教育学会の設立趣旨を出発点として、山城経営学の特徴がていねいに整理して述べられた。経営教育の本質は、education(教育)ではなくdevelopment(自己啓発)にあることをはじめとして、経営教育研究の原点を改めてふりかえるよい機会となった。

報告終了後、第50回全国研究大会(10月8日~10日、九州国際大学で開催)の打合せ、開催会場の下見、懇親会が引き続いて行われ、懇親会では、全国大会を成功させるために、九州部会をあげて盛り上げることが確認され、一致団結がはかられた。

**平成16年度第1回関西部会報告**

関西大学 王 耀鐘

今年度第一回関西部会が参加者20余名により、6月26日(土)の1時半から5時まで、関西大学百週年記念会館の第3会議室で開催された。

第1報告者は東俊之氏(京都産業大学大学院マネジメント研究科博士後期課程)で、テーマは「非連続的組織変革論の新たな視座」である。その後質疑応答。

第2報告者は大東正虎氏(関西大学大学院社会学研究科博士後期課程)で、テーマは「ユビキタス・コンピューティングにおけるトレーサビリティの現状、課題と展望」である。その後質疑応答。

報告終了後、5時から同大学において懇親会が開催された。なお、第2回の部会は12月11日(土)を予定しています。場所は大阪のドーンセンターで、報告会のあと、例年通り忘年会行います。報告者2名を募集中、決まり次第改めて会員様にご連絡を申し上げます。

**米国経営学会経営教育部会からの本年度派遣報告**

千葉商科大学 吉田優治

6月26日開催された関東部会（立教大学）においてCharles Wankel教授（St. John's University、1999年度部会長）は、「The Cutting Edge of International Management Education」と題する報告を行った。教授は、21世紀のビジネスが国際的かかわりの中で展開されるのに伴い、経営教育も教室、大学、地域、国を越えて国際的枠組みにおいて展開されるべきであると主張した。そして、米国ではすでにIT利用による国内外の大学・教育機関との連携プログラムづくりや世界中の学生が参加するサイバースペース教室づくりなどの試みが進展している状況が報告された。しかし、こうした教育システムによって、これまでと異なる教育がどこまで創造され得るのか、どのような教育効果が生まれるのか、どこに教育的問題が考えられるのかなどをさらに検討する余地があるように思われた。

**平成16年度第2回関東部会報告**

東洋大学 關 智一

平成16年6月26日、関東部会が立教大学にて開催された。

第1報告は、金融庁金融研究研修センター専門研究員・松田岳氏による「米国コミュニティ開発法人とリレーションシップ・バンキング」（コメンテータ：IBMビジネスコンサルティングサービス・中川智久氏）であり、第2報告は、東京学芸大学・内田賢氏による「海外拠点への技術移転と経営教育」（コメンテータ：東洋大学・中村久人氏）、そして第3報告は、米国経営学会・経営教育部会より、C.Wankel教授（St. John's University）をお招きして、「The Cutting-edge of International Management Education」（コメンテータ：立教大学・木野木猛氏、通訳：千葉商科大学・田中良拓氏）について御報告いただいた。いずれの報告についても、コメンテータの先生方やフロアからの質問などにより、活発な議論が交わされた。

研究報告会終了後は、立教大学内「藤だな」にて懇親会が行われ、Wankel教授のご挨拶なども頂き、盛会であった。

**機関誌投稿論文募集!!**

機関誌への投稿論文を下記の要領で募集しています。会員の皆様の積極的なご投稿をお待ちしております。

機関誌編集委員長 中村久人

1. 原稿の受付：年間を通じて、いつでも受付けております。ただし、2004年9月末日までに到着した分についてのみ、第8号（本年度号、2005年3月末日発行予定）の掲載対象とします。それ以降の分については次号以降の掲載対象とします。
2. 原稿の送付先：日本経営教育学会事務局
3. 執筆要領：名簿に掲載してありますのでご参照ください。
4. 審査方法：名簿に掲載してあります「編集委員会運営規定」をご参照ください。
5. 問合せ先：日本経営教育学会事務局

TEL 03-5282-3920 FAX 03-5282-3452 E-MAIL name@yutori.or.jp

**自由論題報告者募集のご案内—締切は10月31日！**

第51回全国研究大会（開催校：明治大学または和光大学を予定）の自由論題の報告者を募集いたします。報告をご希望される方は下記の要領に従ってご応募ください。皆様の積極的なご応募をお待ちしております。

**自由論題報告募集要項**

自由論題報告に応募する際には、以下の書式に従い、①表紙（1枚）、②報告要旨（2枚程度）、③参考文献（1枚以内）をセットにして提出すること。②と③で3枚を超えてはならない。

## (1) 表紙

●A4サイズ用紙1枚に以下を明記すること。体裁は各自に任せる。

- ①氏名（漢字およびアルファベット）
- ②報告テーマ
- ③所属（現職および職位）
- ④連絡先電話番号・FAX番号（自宅および勤務先）
- ⑤Eメールアドレス

## (2) 報告要旨

●報告要旨は以下の体裁に従い、問題意識、論点、結論などの内容を必ず含むこと。

- ①用紙サイズ：A4サイズ用の紙を縦に置き、横書きで使用のこと。
- ②余白：上下左右2.5cm
- ③字の大きさ：10.5ポイント程度、文章は明朝体、タイトルはゴシック体。
- ④書式：1行40字×30行（1200字）
- ⑤文字数：一人2400文字以内。

## (3) 参考文献

●体裁は報告要旨に準じることとする。なお、参考文献は報告と密接に関連するものにとどめ、関係の薄いものは掲載しないこと。

※応募先 日本経営教育学会 会長 舩富 順久

〒101-0062

東京都神田駿河台2-1-45 ニュー駿河台ビル7階 企業経営通信学院内

Tel：03-5282-3920 Fax：03-5282-3452（担当：佐久間）

e-mail：[name@yutori.or.jp](mailto:name@yutori.or.jp)

※応募締切り：平成16年10月31日（必着）

**第30回中部部会開催のご案内**

第30回中部部会を平成16年11月6日（土）13時30分より、中京大学名古屋（八事）キャンパス・センタービル（0号館）6階0604教室（〒466-8666 名古屋市昭和区八事本町101-2）にて開催しますので、ご案内申し上げます。なお、プログラムは次回会報に掲載の予定です。

報告（報告40分、コメント15分、質疑15分を予定しています）をご希望の方は、9月24日までに事務局（津田秀和：愛知学院大学 TEL 0561-73-1111（代表）内線355、e-mail：[tsuda@dpc.aichi-gakuin.ac.jp](mailto:tsuda@dpc.aichi-gakuin.ac.jp)）にお知らせ下さい。

## 第7回産学交流シンポジウムのご案内 「変革・教育・人材」

### 【その1】～プロフェッショナル、源流の探究と人材の教育～

産学交流シンポジウム（産学交流研究集会を改題）は、実・学一体という日本経営教育学会創立の理念を具現する為に、学会・実務界の人々が集い、その時々的重要なテーマについて語り合い学習しあう「場」としてスタートしました。

今回は「変革・教育・人材」をテーマに、3回シリーズのシンポジウムを開催致します。シリーズ第1回目は「【その1】～プロフェッショナル、源流の探究と人材の教育～」です。プロフェッショナルという言葉はプロ野球、プロゴルファーなどのように専門職業・職業人としての意味はよく理解されています。しかし企業の中のプロフェッショナルについては企業変革・革新にとって欠かせない重要な要因であることから、さまざまな経営の視点（組織能力開発戦略などなど）から研究が行われていますが、実践的研究には多くの余地が残されています。

今回の産学交流シンポジウムでは、産業界・実務界から経営革新に腕を振るわれて、ご自身が経営のプロフェッショナルであられるアフラック（アメリカンファミリー生命保険会社）創業者・最高顧問の大竹美喜氏に経営革新とプロフェッショナルの功罪についてご講演を頂き、さらに学会からは人材マネジメント特にプロフェッショナルを専門としておられる東京都立短期大学の宮下清教授に企業の変革におけるプロフェッショナル人材育成についてご講演を頂きます。

この講演を受けてご参会の皆様と意見交換を行い、考察を深めていただく機会として頂きたいと存じます。多くの皆様のご参会をお待ち申しあげております。

#### 《開催要領》

日 時：平成16年11月18日（木）  
シンポジウム 13：20～16：50（13：00受付開始）  
懇 親 会 17：00～18：30  
場 所：財団法人 企業経営通信学院 東京事務所  
東京都千代田区有楽町1-7-1 有楽町電気ビル南館 3F  
参加費：シンポジウム・懇親会 1名3,000円  
申込先：日本経営教育学会 事務局  
東京都千代田区神田駿河台2-1-45 財団法人企業経営通信学院内  
Tel：03-5282-3920 fax：03-5282-3452 name@yutori.or.jp

#### 《プログラム》

13：00～13：30 受付開始  
13：20～13：30 開会挨拶  
13：30～14：30 【講演】大竹美喜氏（アフラック（アメリカンファミリー生命保険会社）創業者・最高顧問）  
14：35～15：15 【講演】宮下清教授（東京都立短期大学）  
15：15～15：35 コーヒー・ブレイク  
15：35～16：20 意見・名刺交換会  
16：20～16：50 グループごとの質疑応答  
17：00～18：30 懇親会

#### 編集後記

第50回全国研究大会が10月8日～10日にわたって九州国際大学にて開催されます。会員の皆様の積極的なご参加をお待ちしております。また、機関紙論文、第51回大会自由論議報告につきましてもどうぞ奮ってご応募ください。

細萱伸子・山中伸彦

発行 日本経営教育学会

東京都神田駿河台2-1-45 ニュー駿河台ビル7階 〒101-0062  
財団法人企業経営通信学院（担当：佐久間・福田）  
TEL 03-5282-3920 FAX 03-5282-3452  
e-mail：name@yutori.or.jp